

はじめに

岡山大学では、平成 21 年度文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業に「学都・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン」が採択され、本学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室を中心に全学的取り組みとして「循環型人材育成進化プラン」を進めてまいりました。このプランの下では、「研究サポート体制」「雇用」「持続性」という 3 つのキーワードを柱にさまざまな事業を展開しているところであります。

本アンケート調査は、11 学部、7 研究科から構成された総合大学である本学において、多様な構成員のニーズを具体的に把握することのみならず、このような女性研究者支援および男女共同参画プログラムに対する認識や評価を問うことによって、各事業をより実状に即したものとすること、さらに今後取り組むべき課題の所在を明らかにすることをめざして計画・実施されました。このため調査対象を大学院生以上の全構成員とし、具体的には平成 21 年 10 月時点で本学に在籍するすべての教職員（非常勤職員を含む）と大学院生・研究生・ポスドクに対し、調査票を配布する形で行いました。幸いにも多くの方々の協力を得ることができ、高い回収率となりました。貴重な時間を割いて回答を寄せてくださった皆様に、心より感謝申し上げます。

本アンケート調査の結果はこれまでも男女共同参画室のホームページ、交流サロン等でお知らせしてまいりましたが、この度、事業成果中間報告書の発行にともない中間報告書の別冊として一つの冊子に取りまとめる運びとなりました。

本報告書作成にあたっては、調査票の作成に携わった中谷文美、五福明夫、片岡仁美の 3 名（男女共同参画室アンケート調査ワーキンググループ）が主な調査項目別の分析と第 1～6 章の分担執筆を行ったほか、自由記述欄の分析と第 7 章の執筆は保坂雅子（男女共同参画室助教）が、グラフ作成と全体のレイアウトは門脇孝弘（男女共同参画室技術職員）が担当いたしました。

ダイバーシティ推進本部男女共同参画室では、既に本調査の結果を基に、「循環型人材育成進化プラン」の充実、展開を進めてまいりました。今後もこのアンケート調査の結果を有効に活用しつつ、岡山大学のさまざまな構成員が抱えるニーズに即した形での男女共同参画推進やワーク・ライフ・バランスの実現につながる事業を着実に進めてまいります。

2011 年 3 月 15 日

国立大学法人 岡山大学ダイバーシティ推進本部
男女共同参画室